

審議会まとめ(水道)

カテゴリ	項番	意見・質問まとめ
浄水場の運営	1	<p>芦屋市では取水の 89 % を阪神水道に依存しているとのことですが、 11 % しかない自己水源(浄水場)に対して費用をかけて維持する意義を教えてください。</p> <p>→奥池地区には阪神水道企業団の水道が通っておりませんので、奥池浄水場からの配水は必要と考えております。</p> <p>また、奥山浄水場につきましては阪神淡路大震災当時には給水拠点として、応急給水の中心的な役割を果たしていたこともあり、民間へ業務委託に移行しながら当分の間、運営を行ってまいります。</p>
	2	<p>浄水場の民間委託を進めて行くように記載されていますが、他自治体では I o T 技術を活用して複数の施設を1か所で集中的に遠隔監視する方向に動いています。遠隔監視、集中監視により更なる人員削減、経費削減が図れると考えますが、導入検討の計画はありますか。</p> <p>→奥池浄水場では民間委託を実施していますが、奥山浄水場は段階的に業務委託を進めており、令和10年度より昼夜間の民間委託を予定しています。</p> <p>奥山浄水場、奥池浄水場の両浄水場を民間委託する際は、浄水処理方法が異なることから一元管理導入を含めて慎重に検討してまいります。</p>
	3	<p>奥山浄水場について、阪神・淡路大震災で重要な役割を果たしたということですが、完全な民間委託にする方向ではなく、職員人材育成の場であり、震災時には危機管理において自主管理する体制が必要ではないですか。</p> <p>→阪神水道企業団も耐震化を進めていますので、将来的には自己水をどこまで確保する必要があるのか検討が必要です。今のところ奥山浄水場は、業務委託に移行しながら持続したいと考えています。</p>
老朽管及び水道施設の耐震化	4	<p>法定耐用年数が管路は40年、ポリエチレン管など寿命の長いものでも、それでも試算は変わらないものですか。管を更新するとしたら償却期間が負担になります。つまり、平準化できれば投資余力も出てくるので、長期的に経営が安定できると考えます。</p> <p>→法定耐用年数は地方公営企業法で40年と定められています。ビニール管もG×形ダクタイル鋳鉄管も全てが同じ40年は疑問に思いますが、法で定められているので40年で取り扱っています。</p>
	5	<p>配水池の耐震化を至急始めないと配管整備しても意味がないのでは？</p> <p>→現在、配水池の耐震化は、計画的に進めています。</p>
	6	<p>余力があれば積極的に資本投資することだと思ふ。将来のために、そのような対策を取っていただきたいと思ひます。</p>

審議会まとめ(水道)

カテゴリ	項番	意見・質問まとめ
人材育成・防災訓練	7	<p>職員数平成元年度 58 人→令和元年 32 人とありますが、21億円の水道事業、芦屋市民の命と健康のための「水」の事業の管理・運営は大丈夫でしょうか？</p> <p>→経営基盤強化を図る為、浄水場運營業務、検針業務、給水契約や開閉栓受付業務などを民間活力を利用し、経営改善に取り組んでいます。また、災害時の備えとして民間事業との応援協定を締結し、かつ自治会や自主防災会の取組に参加し、市民と災害応急給水訓練を行っております。今後の委託化につきましては水道事業の根幹となる経営部門や設計部門などは職員が担っていく部門と考えており、人材育成に注力しています。</p>
	8	<p>緊急連絡管について、訓練等も含めてどの程度使用しているのか教えてください。</p> <p>→緊急連絡管を山手幹線（神戸市、西宮市）に2箇所、国道43号（神戸市）に1箇所の計3箇所を整備しています。訓練につきましては、毎年、神戸市と山手幹線と国道43号を交互に実施しています。西宮市との訓練実施できていませんが、仕切弁の開閉確認を定期的に行っています。</p>
	9	<p>非常時について、阪神・淡路大震災の経験を若い人に共有しておいてもらいたい。</p> <p>→非常時については、芦屋市全体の防災計画があります。水道独自の防災計画マニュアルもあります。それらに準じて訓練や、阪神水道企業団とも連携し応急給水訓練や机上における伝達訓練を行っております。</p>
	10	<p>組織の見通し等についてのお願いですが、職員の減少により、残る職員の責任が増加します。技術の継承、新しい人が入ってこないと事業は続かないと思っています。</p> <p>→職員数が減少し有事に大丈夫なのか、委託のみをもって経済効果を上げるのは一つの方法かもしれないですが、委託事業が適切に行われているのかの確認、業者への指導は、行政側がしっかりとしておかないといけないと考えています。公の責任としてこれだけは職員がやらなければならないというところや、この部分は一部の監視を入れながら民間の力でやればといった整理も、現在進めています。経済効率のみならず、市役所の一組織であるため、さまざまなことを総合的に考えながらやっていくこともそうですし、委員ご指摘の、職員の負担も考えないといけないと総合的に判断しながら、業務のあり方や委託の仕方を考えなくてはならないと思っています。</p>
	11	<p>民間委託している会社と防災に関する協定は結んでいますか。</p> <p>→さまざまな民間企業と災害時の協定を結んでいます。</p>
構成	12	<p>ビジョンの表紙ですが、市民に親しみやすいようにして頂けたら幸いです。</p> <p>→表紙については親しみやすいものを検討します。</p>

審議会まとめ(水道)

カテゴリ	項番	意見・質問まとめ
財政	13	<p>給水原価が安くなっているのは、阪水の受水費も影響していますね。以前は、過払をしているということでした。多いときは億単位でしたかね。先ほどの経営戦略、受水費の削減のところで、設備代は固定費で、水をつくる動力や薬品費は変動部分で、その分が安くなったということですね。それがこの2、500万円削減が限界ということですね。</p> <p>→今後、阪神水道企業団や各構成市と協議を進めます。新しく明石市が構成市に入ると、削減額は増えるのではないかと考えています。ただ、受水費の削減も限界に近付いていると考えます。</p>
財政	14	<p>官庁が発注する工事の入札が不調に終わる件が増えている。芦屋市でも何件か不調となっている。建設工事の単価が上がっている。その中で、この数字を守ろうとするとかなり努力していただかないといけない。新しい技術、効率的に工事する等、新しい工事方法を採用するなど、かなり頑張っていただかないといけない。</p> <p>→他課との連携（例えば、アスファルト舗装の節約など）にも取り組み節減に努めてまいりたいと思います。</p>
	15	<p>水道経営戦略の財政計画について、50年の長い経営戦略の作成について有難い。この資料が外部に出ていくものであれば、分かりやすく見て頂けるように、どういう推計をしたのか推計方法を書いておいた方が見やすい資料になると思います。また水道経営戦略の財政計画について、シミュレーションして頂いているので、何年後に料金改定だとか説明があると分かりやすいと思います。</p> <p>→経営戦略は10年の財政計画を出していこうと考えています。50年の財政計画はあくまで長期にかかわる推計なので、信頼性が乏しいことから内部の参考資料とします。投資額4億円では、令和30年度に資金ショートになる見込みです。</p>
	16	<p>財政計画で、毎年の投資額3.5億円、4億円でシミュレーションしていますが、老朽化率とか管路更新率がどうなるのかとか、そのような説明がありますか。</p> <p>→そこまでは記載していません。今年度、アセットマネジメントの見直しも行っており、作成しております。完成すると何らかの形でお示しできると思います。</p>
17	<p>3.5億を投資する50年の長期の財政計画で、給水原価と供給単価の関係があって、10年ほどすれば原価割れしていくタイミング、令和27年度に資金ショートしていくという、この10年間は良い期間となっている。4年前は、以前（平成29年度まで）は原価割れしていた。今のところ、少し給水原価が少ない。供給単価のほうが高い状態ですね。この原因を教えてください。また令和14年度からは、給水原価が上がっている。その原因を教えてください。</p> <p>→「芦屋市水道ビジョン（案）」p18にグラフで示しております。令和元年度は収支相償な関係になっています。大きな原因は、民間委託を進めた結果です。職員数の減少はありますが、民間の力を借りることにより経営改善を図っている結果です。令和14年度から給水原価が下がっているのは水量が著しく減ってくるということが原因です。</p>	